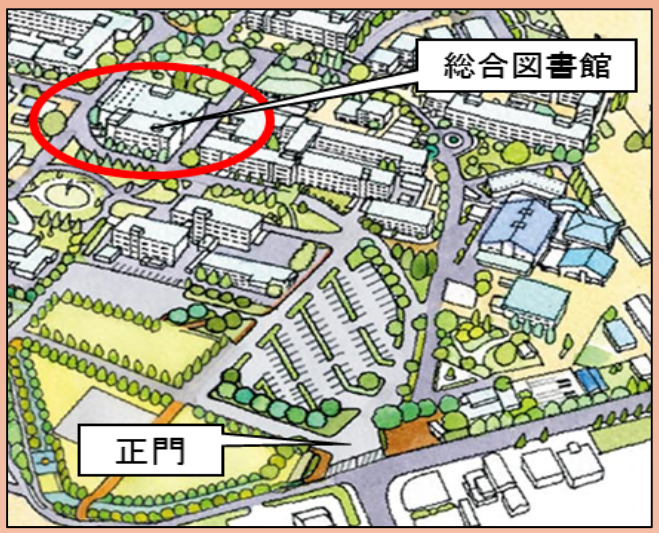
山口大学･大学教育再生加速プログラム（YU-AP）
FD･SDワークショップ

アクティブ・ラーニング授業開発ワークショップ Part2
ーサービスラーニングの授業設計と学修評価のポイントを学ぶー

【趣　旨】

中央教育審議会答申『新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて　～生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ～』（2012年8月）を前後して、大学教育におけるアクティブ･ラーニングへの関心が急激に高まり、各大学では授業方法や教室環境の改善充実が進められています。しかし、大学教育の現場では、「アクティブ･ラーニングをどのように取り入れたらよいのか」、「自分の授業にはアクティブ･ラーニングは不向きではないか」、「アクティブ･ラーニングを通して学生の学びが本当に促進されているのか」、といった声をよく耳にします。

今年度のワークショップでは、アクティブ･ラーニング授業の具体的な手法に焦点を当て、日常の授業実践の即戦力となる内容を提供いたします。第2回目の今回は、サービスラーニングの授業設計と学修評価のポイントを学びます。なお、本ワークショップは、山口大学･大学教育再生加速プログラム（YU-AP）事業の一環として開催いたします。



日時	2016年10月31日（月） 16:10～18:00
場所	山口大学　総合図書館 アカデミックフォレスト （吉田キャンパス）
対象	学内外の教職員･学生

【申込方法･問合せ先】

件名「FD･SDワークショップ申込」とし、「①氏名、②所属･職名、③E-mail」を記入の上、E-mail：yuap@yamaguchi-u.ac.jp（担当：YU-AP推進室）あてに、**10月27日（木）まで**に送信願います。

山口大学　大学教育機構 大学教育センター（YU-AP推進室）
E-mail：yuap@yamaguchi-u.ac.jp

大学教育再生加速プログラム

Service Learning

【概　要】

16:10～16:15　開会挨拶・趣旨説明

福田　隆眞　山口大学理事・副学長（教育学生担当）

16:15～17:05≪第一部　事例報告≫

（1）「初年次教育におけるサービスラーニング

～エリアキャンパスもがみ10年の軌跡～」

橋爪　孝夫　山形大学 教育開発連携支援センター講師

（2）「地域との信頼関係の上で学生は羽ばたき飛び立つ

～阿武21年、徳地12年、富海5年の経験から～」

安渓　遊地　山口県立大学国際文化学部教授

17:05～17:55≪第二部　グループワークセッション≫

「サービスラーニングの授業設計と学修評価のポイントを学ぶ

～フィールド学習の持続性と信頼性を得るためには～」

（1）オリエンテーション

（2）グループワーク

（3）全体解説及び質疑応答

17:55～18:00　クロージング・閉会挨拶

朝日　孝尚　山口大学 大学教育機構 大学教育センター長

本学におけるアクティブ・ラーニングとは、「教員による一方的な講義形式の教育とは異なり、認知的、論理的、社会的能力、教養、知識、経験を含めた汎用的能力の育成を図るため、学修者の能動的な学修への参加を取り入れた教授・学習法（発見学習、問題解決学習、体験学習、調査学習等のほか、教室内でのプレゼンテーション、グループワーク等）を指し、その対象として、授業科目による正課教育だけでなく、授業外学修である正課外教育を含む。なお、授業科目においては少なくとも1コマ以上行うものとする。」としています。

大学教育再生加速プログラム